

### KIS企画 室津海駅館・民俗館と閑谷学校

京都府インテリア設計士協会(KIS)主催のバスツアーに便乗させていただいた旅であった。

最初に訪れた『室津』は、兵庫県たつの市南部の瀬戸内海に面し、古くから栄えた漁港で「歴史とロマンのまち」であった。

古い町並みに室津海駅館・民俗館があり往時を偲ばせている。奈良時代には僧、行基により「摂藩五江」の一つとして開かれ、江戸時代には参勤交代の上陸地として栄えた。井原西鶴や谷崎潤一郎、司馬遼太郎など文化墨客が訪れ作品を書いている。



夏の夕暮れには遠くから聞こえる、盆踊りの音頭を聞きながら、浴衣がけで下駄の音でリズムをとり、潮風に浴衣の裾をあおられながら足早に……。はたまた秋には、祭囃子を聞きながら、五木ひろしの「ふるさと」でもくちずさみ、ふと触れた彼女の手が意外にも冷たかったりと思いを馳せる。

機会があればスケッチにでも泊りがけで再訪したい。そのあと、以前から訪れたかった『旧閑谷学校』(岡山県備前市)に向かう。

300年経た今も整然と丸味をおびた姿をたたえる「石塀」、学問の殿堂である国宝「講堂」は威風堂々とした建物であった。詳しくは紙面の都合上割愛するが、回廊の床板が「手違い鋸(かすがい)」で止められていたのが印象に残った。資料館もゆっくりと観てみたいな〜と、心残りながら帰路のバスに乗り込んだ。

季節をさきどり、昼食で食べた室津の「牡蠣」は美味しかった。(記・植村 哲)



### 第57回インテリア設計士証書伝達式報告

第57回検定試験の「証書伝達式」が9月22日(金)、長堀橋にあるイタリアンレストラン“GOTTI”で実施された。

河野会長から、まず参加者9人(学生8人、社会人1人)に証書、資格カード、ラベルピン及び参加記念の壁掛けウォールポケットが贈られた。

授与後は新入会員と所属学校の先生方、賛助会員、OIS役員等の懇親や情報交換が行われ、合格者から今回の受験に対する感想や将来の夢を述べてもらうなど時を忘れ歓談した。

若い人の活躍が期待される伝達式となった。(記・事務局)



今回は、春らしいほのぼのとした「梅」の模様のなかに「福」という字を彫ってみたいと思いました。力量をはるかに超えているのは承知の上でしたが…。私は怖々大切な線を落とさないように彫るのですが、どんなにがんばっても線は太くキザキザで判読が難しい有様です。ギブアップしたあとは、いつもながら宮後先生の手ですっきりした文字に生まれ変わりました。(上の印影で一目瞭然です)彫るときも楽しいのですが、私は、宮後先生の手にかかり美しく変わる様子を楽しみに、毎回参加しているのかもしれませんが。新しい年は、手を動かしモノを創ることを大切にしたいと思います。宮後先生ありがとうございました。(記・今井 和子)

### 家具よもやま話 No.1 小長谷 光

今後、何回になるか分かりませんが、家具について取りとめない話をさせていただきます。それぞれの内容や時代の前後関係など特に脈絡はありません。

まず、初回にご紹介するのは「コックファイティングチェア(cockfighting-chair)」というウォルナット製読書椅子です。



コックファイティングチェア

ユーモラスな名称は、そのフォルムが羽をバタつかせて威嚇する鶏の姿を連想させるからと思われる。

1725~50年頃に英国で生産され、当時はこの呼称と共にポピュラーなものであったようです。

前向きに普通に座るのは休息時。一方逆向きに跨がるように座りU型のトップレール(アーム)に肘をつき、中央の傾斜したブックサポートに本を開き、読書したようです。

トップレールの背面側に回転式と思われる小物入れ(インクビンや筆記

用具の収納と思われる)や、座の下部の引き出し、背面下部の小物入れも便利だったと思います。

読書の際は踏ぐスタイルなので、この時代のファッションから考えると、男性の使用が主だったのではないのでしょうか。

私はこのユニークな形を見てみると、座って読書する人の姿が思いつかべられ、ゆったりした時間が流れているように感じます。

現代ではこのような椅子は生産されないと思いますが、無機質な空間にこんなものが1つあれば楽しくならないでしょうか？



大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14 TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553

URL <http://jp-interior.or.jp/ois>  
blog <http://oisblog.exblog.jp>  
E-mail [ois@jp-interior.or.jp](mailto:ois@jp-interior.or.jp)

発行人：河野 洋二

編集：OIS編集部



瞬発力と挑戦

No.105

### 第57回インテリア設計士 合格・登録者

<1級> 辰井 菜緒(社会)

- <2級> 田中 あゆ(大芸) 天野 晴貴(中央) 田中 翔子(修成) 有澤 花鈴(大芸) 谷口 空(修成) 岡田 明莉(大芸) 谷島 朱美(羽衣) 沖本 莉奈(大芸) 田村美津樹(羽衣) 小田 俊輝(中央) 田村 雄太(中央) 小野 美和(大芸) 内藤 葉稀(羽衣) 香川 昂喜(京建) 中野 花鈴(羽衣) 賀来 壮(修成) 西畑 梨子(修成) 片山 結(修成) 野一色 央(修成) 冠 希央(中央) 野瀬 勇希(修成) 北野 円葉(修成) 廣津 飛翔(修成) 北畑 大成(修成) 松原 颯(中央) 阪本 拓馬(中央) 水野 圭(中央) 住吉 駿彌(修成) 山崎 夏海(大芸) 田子優花里(大芸) 山本 衣里(大芸)

- 凡例 社会=社会人 羽衣=羽衣国際大学 大芸=大阪芸術大学短期大学部 中央=中央工学校 OSAKA 修成=修成建設専門学校 京建=京都建築大学校

第57回インテリア設計士資格検定試験の受験者は、新規の受験校もあり、昨年の28人からはほぼ倍増の55人で、そのうち合格者(登録)は32人であった。

第58回の日程は2018年7月7・8日に実施されることが決定している。OISでは5月から一般向けに対策講座を実施する予定である。

※伝達式の報告はP4をご参照下さい

# HASHIRIGAKI

葉知利書



### 新年巻頭言

副会長 今井 俊夫

皆様方には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2018年、ロボットが宙返りをし(Boston Dynamics社HPご参照)、EV・自動運転車が普及段階になり、ついにAIが人間の能力を超える技術的特異点(シンギュラリティ)を迎えようとしています。

二百年余り前、イギリス産業革命の際に、仕事が機械に奪われることを恐れましたが、

逆に新しい仕事生まれ、新しい社会が訪れました。一方で市民に貧富の差が生じ、世界に戦争や混乱が起こりました。これらがまさに今、再現しています。

今から10年間程で産業革命に匹敵する社会変化が起こると予測されます。2027年リニア新幹線開業。更に速い Hyperloop Oneも実験中です。夢のような話がすぐそこまで来ているでしょうか。仕事がなくなるのではなく仕事が変わることで、今度こそ人間が幸せになる社会を目指すことが重要です。

皆様、激動の中、実り多き一年になりますようにお祈りします。

### 2018 初詣と新年会

恒例の初詣を1月7日(日)に「お初天神(露天神社)」で行いました。

参加者は23人、拝殿でOISの発展と会員皆様の活躍と健康を祈念するお祓い、河野会長の玉串奉納、お神酒をいただき拝殿前で記念撮影をしました。

その後、近くの「がんこ曾根崎本店」に席を移しての懇親会。ビールで乾杯、しばらく歓談のあと、今年は「割り箸つかみゲーム」を行いました。落ちる箸を片手でつかむ簡単なゲームですが、瞬発力が試されます。

その後、各人が今年の抱負(目標)をひとこと色紙に書き、それぞれ発表しました。優秀賞は「挑戦」を書かれた、賛助会員の中島さんに決まりました。

2018年はOISも「瞬発力」をつけ「挑戦」の年にしたいと思います。(記・事務局)



活躍と健康を祈願



割り箸つかみ 疋田顧問 河野会長 南野副会長



アサカ硝子産業株 中島社長



### 生瀬～武田尾 廃線敷ハイキング

2016年にハイキングコースとして一般解放された「JR福知山線廃線敷ハイキングコース(全長4.7Km)」を、暮れも押し迫った12月16日(土)、会長の河野さんをはじめ、小長谷さん、吉矢さん、岡崎さんの4人で歩きました。



JR生瀬駅を出発し、国道を20分ほど歩き、コースのスタート地点に到着しました。廃線後長期間荒れたままの状態だったようですが、今は整備され、橋梁も柵が設けられています。

枕木の上を一歩一歩、歩きます。この上を列車が走っていたのかと思うと、何か感慨深いものがあり、一度は乗ってみたいかったですね。

しばらく進むと、当時のままの姿でトンネルが出迎えてくれました。トンネルの中は想像以上に真っ暗で、懐中電灯を照らしながら慎重に進みました。トンネルを抜けると現れた立派な鉄橋。ナント！その鉄橋の上を歩くことが出来ました。

武庫川沿いを走る路線だったので、武庫川の流れに沿って雄大な山がそびえています。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は落葉と、四季を通じて楽しむことが出来る、何と魅力のあるコースでしょう。約1時間半のハイキングでした。

来年には早速友人を誘って桜と武田尾駅近くの温泉でも・・・と、すでに計画済みです。

(記・来藤 澄江)



### TALK-PAL 12

2015年10月19日に復活したTALK-PAL、今回(8月19日実施)は数えて12回目でした。

この12回目は、私にとっては大きな意味があります。といひますのは、この9月一杯で事務局を卒業し“毎日が休日”になるため、何もしないけれど“現役”として最後の参加だったからです。そんなわけで満を持して参加しました、というより、事務局として待ち受けました。

TALK-PALは楽しい場ですが、心配なこともあります。そのひとつが参加人数で、もう一つは食料・飲料の準備です。いつも持て余すほどの持込みはあるのですが、もし足らなかつたら・・・、つい貧乏性の心配が出てしまうのです。

今回は土曜日のため午後3時のスタートにしましたが、ご参加の各位、それほど遅れることもなくお集まりいただき、日の高いうちから杯を重ねました。この様子はSNSのfacebookで速報されていますが、OIS会員や仲間になっていただいている人数は限られています。個人情報などの関係でこの足を踏む方もおられると思いますが、ぜひfacebookの仲間になってください。飲み会だけではなく、いろんな情報が飛び交っています。

「継続は力なり」といわれるほど貴重・重要、かつ難しいものなのですがこのTALK-PAL、復活以来1回も欠けることなく実施されています。それにはそれなりの理由があるのです。それは、ご参加いただかなければ分からない何かです。

次回も卒業生として参加予定ですが、何せこのTALK-PAL、毎回飲みすぎるのが欠点でもあり、魅力の一つです。(記・奥田 忠彦)



### TALK-PAL 14

2017年最後を飾るTALK-PALを12月19日に実施しました。持ち込みのスパークリングワインで乾杯の後は、いつもの身近なニュース等で盛り上がりました。今回はクリスマスが近いこと

### TALK-PAL 13

久しぶりにTALK-PALに参加しました。翌日が新月ということもあり、奥田さんから「新月の願い事」について、興味深いレクチャーを受けましたので、その一部を紹介します。

願い事を叶えるには、以下の4点がポイントです。

- ①新月からなるべく8時間以内にお願ひする  
新月の願い事にタイミングがあり、新月が始まってすぐがよい。遅くとも48時間以内という時間制限がある。
- ②新月の時間が過ぎてからする  
新月の前は効果がない。
- ③願ひ事は10個以内が理想的  
個数については、願ひに伴う行動が重要なので10個が限界？！
- ④ポイドタイムは避ける  
なんと、願ひ事が効かないポイドタイムという魔の時間もある。新月の時間は毎日少しずつ変化しており、一覧表が必要不可欠です。結局、人間願ひ事ばかりではダメ、高みを求める本人の努力が必要なんだよ、ということをお教わりました。当日はだいぶ遅れての参加でしたが、皆さんに暖かく迎えられ楽しい宴でした。(記・守屋 一之)



もあり、私自身もクリスマスの雰囲気のある料理作りチャレンジしました。なんとか形にもなり、楽しいクッキングでした。次回は2月19日(月)の開催です。初めての人もぜひご参加ください。(記・岡崎 正明)



### “かぶだちの会” 併催 ビアパーティ参加体験記

一般向けの案内に添えられた「かぶだちの会」会員宛ての1枚に、「じ〜じとば〜ば そうでない人もお集まりください！」と意表をつく惹句。続いて「★確かにアクセスは良くありませんが、上回る好条件が★」と、おいしいポイントがフライヤーにずらり。これは見逃せない、と一番乗りを目指してエントリーしたはずが、残念。すでに私以上にノリの良い会員1名に先を越されていました。あつという間にSOLD OUTではなかったでしょうか。

7月28日当日はほぼ定員の19名が参加、じ〜じとば〜ば そうでない人が半々といったところ。初めてお会いする若手も多く、OISの活力を感じました。

当日は一雨来そうな空模様ながら無事セーフ。KKRホテル5階ガーデンテラスから大阪城のライトアップを間近で堪能しつつ、と書くべきところ、私は華より団子、飲み・食い・しゃべ



りにはしていました。思い出だけでも、突出しの海鮮系小鉢のオンパレードから目の前の揚げたて海老天まで、お料理は食べ放題¥3,800とは思えないリッチさ。完全にビアガーデン定番料理の域を超え、まことにフライヤーは正直でした。会場選びの完全勝利、幹事様に脱帽いたします。(記・塚口 眞佐子)

### 2017 事遊展 + 忘年会 古民家で開催



OIS事遊展&忘年会を12月8日(金)、谷町六丁目の路地裏にある古民家“からほり悠”を借りて実施しました。参加者は22人、昨年と同じく、1日限りの展示会で、作品は自分で持ち込み、終了後は自分で持って帰るという方法です。

1階で忘年会、2階に出展者の素晴らしい作品が並んでいます。忘年会はオードブル、寿司等の持ち込みの料理のほか、手づくりのお好み焼き、焼きそば、ぜんざいなどあたたかい料理も、女性会員の協力で準備しました。

事遊展、今年のテーマは「ヒカリ」。照明器具は勿論、ヒカ리를連想させる作品のほか、学生作品や「遊」部門での水彩画など、力作が集まりました。忘年会の途中、2階に移動し、出展者から作品についての説明を受け、皆で人気投票をした結果、最優秀賞は奥田さんの「オイルランプ」、優秀賞には木村さんの「ミニチュア照明」、会長賞には吉矢さんの「森の光」が選ばれました。



今回の会場は、おちついた雰囲気のある古民家で参加者からの評判もよく、事遊展&忘年会ともに、盛会であったと思います。(記・事務局)



最優秀賞 奥田さん「オイルランプ」



優秀賞 木村さん「ミニチュア照明」



会長賞 吉矢さん「森の光」



### 参加者からのコメント!

今回は大学の授業内で作ったものを展示しました。もし次回も参加出来れば、ぜひテーマ作品に挑戦してみたいです。様々な作品を見ることが出来たととても楽しかったです。(羽衣国際大学・清水 綾乃)  
忘年会の手料理、あたたかくとても美味しかったです。(羽衣国際大学・大西 愛)